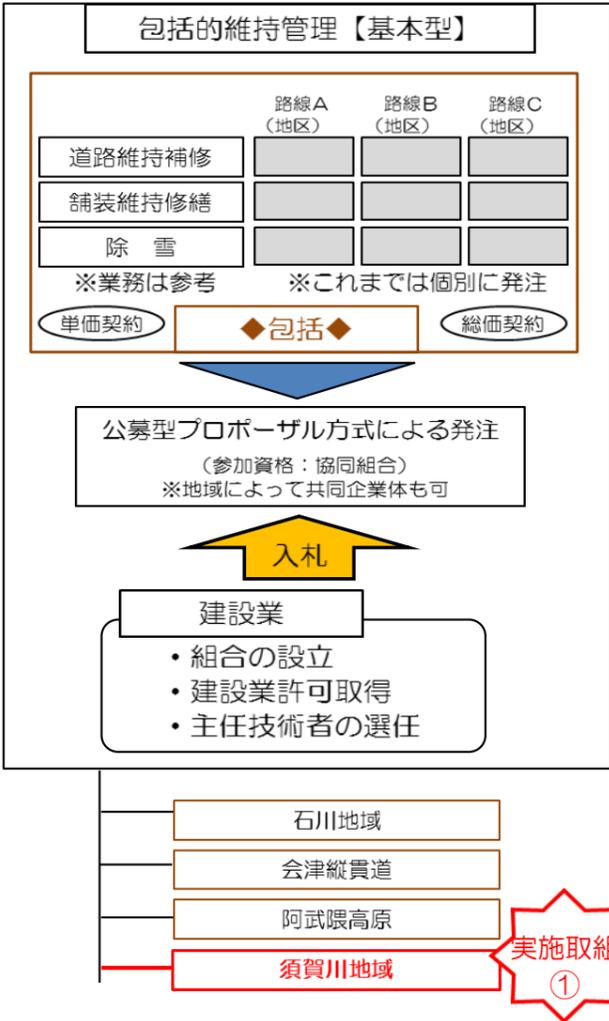


県では、人口減少社会を踏まえ、県内建設業を取り巻く担い手不足および高齢化の問題を抱えながらも、地域建設企業が地域の守り手として公共施設の維持管理を持続していくために、包括的維持管理が一部地域で導入されている。

包括的維持管理の導入により、地域の建設業が更に事業量の確保および生産性向上が図られ、企業の安定経営に繋がるよう、包括的維持管理を拡充、拡大する取組を実施していく。

【包括的維持管理の段階的な推進（概要図）】

Step1：導入



Step1~2

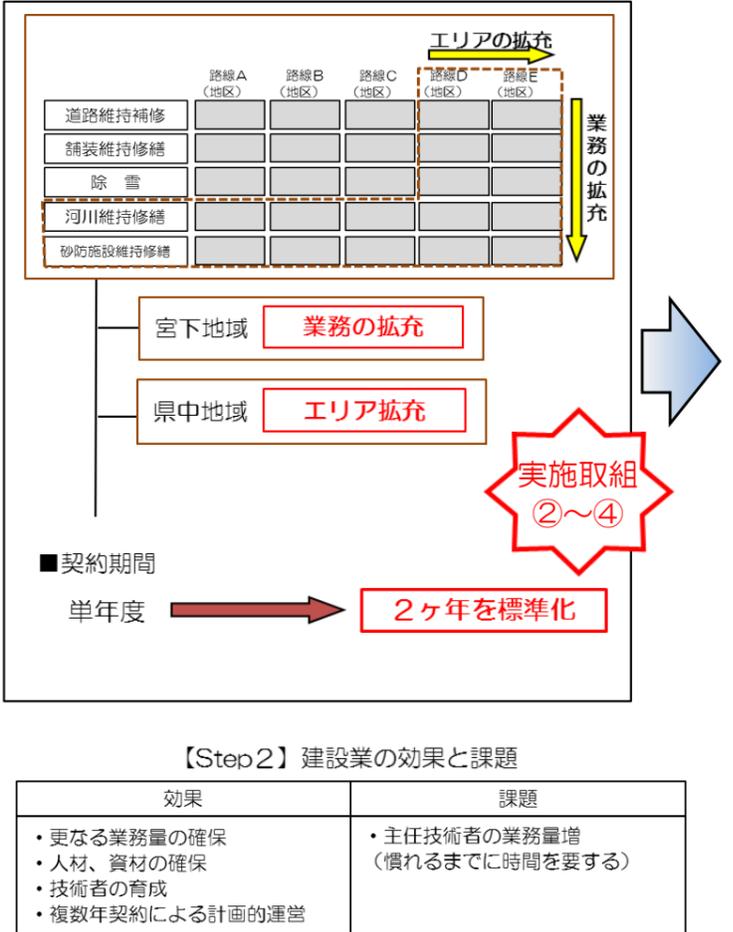
■主任技術者の役割(案)

- 発注者との協議
- 組合員への業務の振り分け
- 管理区域内の状況把握
- 点の管理視点から面の管理視点
- 利用状況からの修繕順位付け
- 発注者への提案

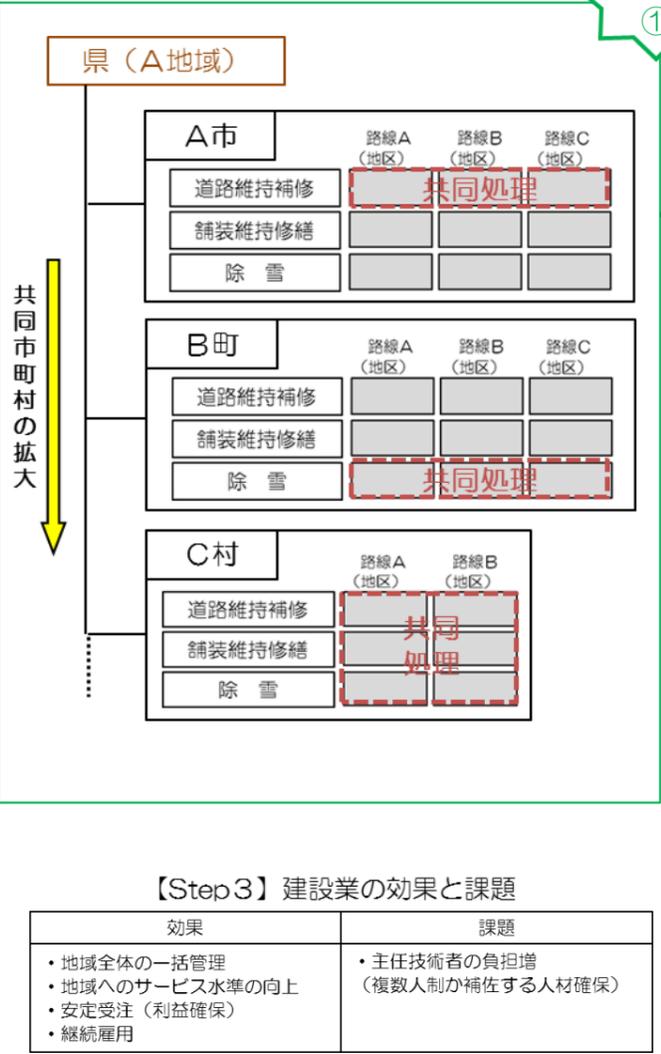
【Step1】建設業の効果と課題

効果
<ul style="list-style-type: none"> 地域建設業減小の抑止 業務量の確保 維持管理の効率化 緊急時対応体制の維持
課題
<ul style="list-style-type: none"> 組合の設立(運営体制の確立) 主任技術者の確保

Step2：拡充



Step3：拡大①(市町村を含めた維持管理)



継続検討 ①

Step3

■主任技術者の役割(案)

Step1~2 +

- 市町村部も含めた業務計画の立案
- 実行予算を見越した業務の実施(簡易的マネジメント)

Step4

■主任技術者の役割(案)

Step3 +

- 健全度評価
- 対策必要性判断の確認
- 新工法、新材料の提案
- 発注作業補助

継続検討 ②

Step4：拡大②(新たなビジネスモデルへ(案))

